

第48回総合リハビリテーション研究大会

テーマ：アクセシビリティの現状と課題、今後の方向性を考える—能登半島地震を踏まえて石川の地から全国へ

日 程：2026年11月14日(土)、15日(日)

会 場：石川県立音楽堂交流ホール(石川県金沢市昭和町20-1)

参加費：一般:3,000円、学生:1,000円(介助者などの参加費は無料)

***手話通訳、要約筆記、点字資料、テキストデータ(視覚障害・読字障害などのある方)あり**

主 催：公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
大会プログラム：

【11月14日(土)】

- セッション1：基調講演および報告(世界の障害者)
基調講演「多様なアクセシビリティ」(仮)：土橋喜人(金沢工業大学、大会実行委員長)
「世界の障害分野—アジアの状況」(仮)：佐野竜平(法政大学現代福祉学部)
「日本の障害分野—関連動向の押さえどころ」(仮)：藤井克徳(日本障害者協議会)

- セッション2：アクセシビリティの現状と展望
コーディネーター：土橋喜人
パネルディスカッション：藤井克徳、佐野竜平、勝井久代(リモート)

- セッション3：情報・コミュニケーションに関するアクセシビリティ
コーディネーター：高岡 徹(横浜市総合リハビリテーションセンター)

発言者：金沢一恵(石川県言語聴覚士会コミュニケーション支援WG)
米島芳文(石川県視覚障害者協会)
長原美穂(石川県リハビリテーションセンター)
岩佐光章(横浜市総合リハビリテーションセンター発達支援部)

【11月15日(日)】

- セッション4：移動に関するアクセシビリティ
コーディネーター：岸谷 都(石川県リハビリテーションセンター)、中子富貴子(公立小松大学)

発言者：川内美彦(東洋大学人間科学総合研究所)
荒井利春(Arai UD Workshop、金沢美術工芸大学)
林由美子(「あうわ」視覚障害者の働くを考える会、金沢星稜大学)
坂井さゆり(石川バリアフリーツアーセンター)
寺田佳世(石川県リハビリテーションセンター)

- セッション5：能登半島震災から見えてきたもの—アクセシビリティを中心とした現状とこれから
コーディネーター：栗原 久(フィールド・サポートem., 日本福祉大学)、沼澤千加(地域支援センターボレボレ)

発言者：大野健志(日本障害フォーラム元能登半島地震支援センター)
八幡隆司(ゆめ風基金)
吉岡真人(石川県聴覚障害者協会)
本田雄志(きょうされん石川支部、野の花福祉会)
畑 泰子(ピアサポートのと)

申し込み方法：研究大会ウェブサイト(<https://rehab-hp.normanet.ne.jp/2026/>)のWEB申し込みフォーム、または、申し込み用紙に記載のうえ、E-mail/FAXにてお申し込みください。

※上記方法でのお申し込みが困難な場合は下記事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先：第48回総合リハビリテーション研究大会事務局

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1
公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会内
TEL：03-5273-0601 FAX：03-5292-7630
E-mail：rehab@dinf.ne.jp